

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 2 区分
 【発行日】令和 1 年 9 月 12 日 (2019.9.12)

【公開番号】特開 2019-11864 (P2019-11864A)
 【公開日】平成 31 年 1 月 24 日 (2019.1.24)
 【年通号数】公開・登録公報 2019-003
 【出願番号】特願 2018-168614 (P2018-168614)
 【国際特許分類】

F 1 6 L 37/10 (2006.01)

A 6 1 M 39/10 (2006.01)

【 F I 】

F 1 6 L 37/10

A 6 1 M 39/10 1 0 0

【手続補正書】
 【提出日】令和 1 年 7 月 30 日 (2019.7.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 2】

上記螺合筒の軸方向端部には、上記螺合筒の端から軸方向に延びる縦部分を有するスリット (54) が形成されており、上記弾性片が上記スリットに隣接していることを特徴とする請求項 1 に記載の医療用接続構造。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 3】

上記螺合筒の端部にはスリット (54) が形成されており、上記スリットは、上記螺合筒の端から軸方向に延びる縦部分と、この縦部分の奥端から周方向に延びる横部分と、を有して L 字形をなし、上記弾性片がこのスリットに画成されていることを特徴とする請求項 1 に記載の医療用接続構造。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記トルクリミット機構は、螺合筒の外周に全周にわたって形成された係合歯と、操作筒の端部に形成された弾性片と、この弾性片に形成されて上記係合歯に噛み合う係合爪とを有している。上記操作筒の端部には、操作筒の端から軸方向に複数のスリットが形成されており、このスリット間に上記弾性片が配置されている。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 3 】

好ましくは、上記螺合筒の軸方向端部には、上記螺合筒の端から軸方向に延びる縦部分を有するスリットが形成されており、上記弾性片が上記スリットに隣接している

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 4 】

好ましくは、上記螺合筒の端部にはスリットが形成されており、上記スリットは、上記螺合筒の端から軸方向に延びる縦部分と、この縦部分の奥端から周方向に延びる横部分と、を有してL字形をなし、上記弾性片がこのスリットに画成されている。